

第18回岐阜県民スポーツ大会 競技別実施要項 変更内容

【実施要項変更箇所】

種目	第17回 令和7年度要項(変更前)	第18回 令和8年度要項(変更後)
水泳	<p>3 競技種別及び種目 種別L:75歳以上</p>	<p>3 競技種別及び種別 種別L:75歳～79歳 種別M:80歳以上</p>
ウェイトリフティング	<p>3 競技種別及び種目 55kg級、61kg級、67kg級、73kg級、81kg級、89kg級、96kg級、109kg級、+109kg級</p> <p>4 参加人員 監督1名、選手は各郡市最大9名までとする。</p> <p>5 参加人数(参加制限) 全員で9名までエントリーできる。</p>	<p>3 競技種別及び種目 60kg級、65kg級、71kg級、79kg級、88kg級、94kg級、110kg級、+110kg級</p> <p>4 参加人員 監督1名、選手は各郡市最大8名までとする。</p> <p>5 参加人数(参加制限) 全員で8名までエントリーできる。</p>
山岳	<p>3 競技種別及び種目 ロゲイニング(制限時間:3時間)</p>	<p>3 競技種別及び種目 ロゲイニング競技(制限時間:90分)</p>
テニス	<p>8 試合方法(男子・女子) 2・シングルス、1・ダブルスの対抗試合で2ポイント以上取った郡市の勝ちとする。 選手の欠場で4名に満たない場合は、出場できないポイントのみを失う。</p>	<p>8 試合方法(男子・女子) 2・ダブルス、1・シングルの対抗試合で2ポイント以上取った郡市の勝ちとする。 選手の欠場で5名に満たない場合は、出場できないポイントのみを失う。</p>

柔道	<p>4 参加人員</p> <p>(1)監督1名、選手4名(団体4人制)、補欠1名</p> <p>(3)出場選手(補欠含む)の段位合計は16段以内とし、体重の軽い順に配列する。</p> <p>7 競技規定及び方法</p> <p>(3)大会申合せ事項 安全面を考慮し、本大会申合せとして下記事項を禁止技とする。</p> <p>重大な反則(反則負け)</p> <p>①両袖を持って技を施すこと。※少年規定に準拠</p> <p>②袖釣込腰、裏投</p> <p>軽微な反則(指導)</p> <p>①無理な巻き込み</p>	<p>4 参加人員</p> <p>(1)監督1名、選手4名(団体4人制)、補欠1名(監督は選手を兼ねることができる。)</p> <p>(2)段位制限、年齢制限はしない。</p> <p>7 競技規定及び方法</p> <p>(3)大会申合せ事項</p> <p>削除</p>
バドミントン	<p>9 表彰</p> <p>各種別及び総合成績の1位～8位に賞状を授与する。</p>	<p>9 表彰</p> <p>各種別及び総合成績の1位～3位に賞状を授与する。</p>
ライフル射撃	<p>5 参加資格</p>	<p>5 参加資格</p> <p>(3) 出場種目はひとり1種目とする。</p>
バレーボール	<p>9 使用球</p> <p>(1)シニア男子「モルテン社製」検定5号球「V5M5000」を使用する。</p> <p>(2)シニア女子「ミカサ社製」検定5号球「V300W」を使用する。</p> <p>(3)マスター女子「ミカサ社製」検定4号球「V400W」を使用する。</p>	<p>9 使用球</p> <p>(1)シニア男子「ミカサ社製」検定5号球「V300W」を使用する。</p> <p>(2)シニア女子「モルテン社製」検定5号球「V5M5000」を使用する。</p> <p>(3)マスター女子「モルテン社製」検定4号球「V4M5000」を使用する。</p>
ハンドボール	<p>6 競技規定及び方法</p> <p>(2) 競技方法</p> <p>・両面テープのみ使用可とする。</p>	<p>6 競技規定及び方法</p> <p>(2) 競技方法</p> <p>・松やに・松やにスプレーは禁止。両面テープのみ使用可とする。</p>
剣道	<p>8 成績及び採点方法</p> <p>(2) 男子・女子ともに特定の得点を与え、その得点合計によって種別順位を決定する。種別の得点算出は、競技得点×選手人数とする。</p>	<p>8 成績及び採点方法</p> <p>(2) 男子・女子ともに特定の得点を与え、その得点合計によって種別順位を決定する。種別の得点算出は、競技得点×選手人数(登録時のもの)とする。</p>

ソフトボール	<p>8 競技規定</p> <p>(2)競技方法</p> <p>①各種別を2ブロックに分けリーグ戦方式とし、各ブロックで1位から3位までを決定する。</p> <p>15 その他</p> <p>(1)使用球は検定ゴム3号球(内外ゴム)とし、各チーム持参とする。(常時2個提出)</p>	<p>8 競技規定</p> <p>(2)競技方法</p> <p>①各種別のトーナメント方式とする。</p> <p>15 その他</p> <p>(1)使用球は検定ゴム12inch球(内外ゴム)とし、各チーム持参とする。(常時2個提出する)</p>
馬術	<p>3 競技種別</p> <p>(4)馬場馬術第3課目(非公認)</p>	<p>3 競技種別及び種目</p> <p>(4)馬場馬術第2A課目(非公認)</p>
相撲	<p>3 競技種別及び種目</p> <p>団体戦</p> <p>(1)青年(30歳未満 大学相撲経験者は含まれない)</p> <p>(2)日般①(30歳未満 青年・大学相撲経験者を含む)</p> <p>(3)日般②(30歳以上40歳未満)</p> <p>(4)壮年(40歳以上)</p> <p>(5)フリー(年齢・大学相撲経験は問わない)</p> <p>4 参加人員</p> <p>(1)団体戦 監督1名 選手5名(青年1名・一般2名・壮年1名・フリー1名)交代4名</p> <p>5 参加人数(参加制限)</p> <p>個人戦</p> <p>(1)青年(30歳未満 大学相撲経験者は含まれない)</p> <p>(2)一般(30歳以上40歳未満)</p> <p>(3)壮年(40歳以上)</p>	<p>3 競技種別及び種目</p> <p>団体戦</p> <p>(1)フリー 年齢順で構成すること ※年齢の合計が150歳以上になる様に構成する事(交代時も年齢計は遵守) 【若年齢(先鋒) → 高年齢(大将)】</p> <p>4 参加人員</p> <p>(1)団体戦 ※前年度国民スポーツ大会参加者参加可 <input type="checkbox"/>監督1名 選手5名 交代4名</p> <p>5 参加人数(参加制限)</p> <p>個人戦</p> <p>(1)一般①(35歳以下)※大学相撲活動経験者不可</p> <p>(2)一般②(36歳以上)</p> <p>(3)無差別 ※前年度国民スポーツ大会選手参加可 【一般①・一般②の参加者は無差別への両エントリーを認める】</p>

<p>アーチェリー</p>	<p>7 競技規定及び方法</p> <p>(1) 競技規則</p> <p>全日本アーチェリー連盟競技規則に準ずる。</p> <p>(2) 競技方法</p> <p>(1) 50・30mラウンド(RCのA～Eクラス)(CP)</p> <p>(2) 30mダブルラウンド(RCのF、Gクラス)</p> <p>(3) A/Bの2立ちで行う。</p> <p>8 成績及び採点方法</p> <p>各部門・クラスの1位に8ポイント、2位に7ポイント、以下1ポイントずつ減じ、8位以下に1ポイントを与えその合計ポイントで総合順位を決定する。ただし、合計ポイントが同点の場合は、その順位を共有し、次の順位は欠位とする。</p>	<p>7 競技規定及び方法</p> <p>(1) 競技規則</p> <p>全日本アーチェリー連盟競技規則に準じた独自ルールとする。スポーツ籍出場選手は団体戦メンバーには含まない。</p> <p>(2) 競技方法</p> <p>全種別30mダブルラウンド60射(RC)(GP)</p> <p>(1) 個人成績は30mダブルラウンドの成績で決定する。</p> <p>(2) 郡市順位は各郡市3名のセットシステムによる団体戦決勝ラウンドを30mの距離で行ない決定する。</p> <p>8 成績及び採点方法</p> <p>団体戦メンバーは各郡市の在住、在勤者から選出した3名で構成し、3名の30mラウンド60射成績合計点数により決勝トーナメント組み合わせを決定する。団体戦メンバーにCP選手が含まれる場合は60cm標的を行射する。</p>
---------------	--	---